



# 月刊 いちえふ。

2016年  
4月号

1 FOR ALL JAPAN 事務局

## とぴくす

### 春の交通安全運動実施中 安全運転に心掛けましょう

4月6日から15日の10日間、「春の全国交通安全運動」が実施されています。福島県の年間スローガンは、「みんながね ルール守れば ほら笑顔」です。みなさん、交通ルールを守り、本日も一日ご安全に！

### 日本三大桜の1つ 「三春滝桜」知っていますか

今回のクイズでも紹介している（4ページ参照）三春滝桜。例年4月中旬から下旬が見頃だそうです。この機会に是非お出かけしてみたいかがでしょう。場所：福島県田村郡三春町滝桜久保地内

### 「春眠暁を覚えず」は本当 春はついウトウトしますね

春先は、昼間ポカポカ陽気で暖かく、朝夕は肌寒い。そのため、気だるさや疲労感といった症状が表れ、昼間も眠くなってしまいうそうです。睡眠は時間よりリズムが大切。規則正しい睡眠生活を送ることが重要です。

## 1Fを守る仲間たち 06

### 仕事は準備が大切 段取りで8割決まると思います

江頭 好博さん

株式会社 東京鐵骨橋梁  
営業本部 1F対策室 室長

ビルや橋の建設など、大型プロジェクトに欠かせないのが鉄骨の組み立て。1Fの廃炉事業においても、原子炉建屋にカバーをかけるときなど、さまざまな場面で必要です。震災直後から1Fに入り、力を尽くしてきた東京鐵骨橋梁の江頭好博さんに、当時の緊迫した状況や仕事の工夫点をうかがいました。

— 1Fではどのような仕事をされたのですか。

江頭さん：1号機建屋の上部から放射性物質が漏れることを防ぐためにカバーをかけることになり、2011年4月から、カバー鉄骨の製作・架設計画を始めました。

まず6月から、日本の各地で製作した鉄骨の材料を、1Fの南にある小名浜港まで陸路で運びました。小名浜では、仮の組み立てをするとともに、1Fでの組み立てに備え、時間をかけてトレーニングをしました。同年7月から小名浜から1Fまで海上輸送をして、10月にはカバー取り付けが

1969年入社。東京都庁を建てる際には、鉄骨を組み立てる現場の責任者に。その後、国内はもとより、台湾でも技術指導に当たる。電力・エネルギー関係の仕事では、東海原子力発電所、東京・新木場の変電所なども手がけたが、1Fに入ったのは震災後が初めて



完了しました。

2014年8月からは、廃炉作業を次の段階に進めるため、別の方法で飛散を抑え、カバーの解体を開始。2015年10月に無事に完了させることができました。

### 大規模で非常に難しい工事なので 腕の立つ職人さんを全国から集めた

— 1Fならではの苦労はありましたか。

江頭さん：何よりも建屋カバーが非常に大きいというのが大変な点でした。しかも、高線量により建屋の上に作業員

江頭さんのお勤め先

### 株式会社 東京鐵骨橋梁

1914年に清水組(現清水建設株式会社)鉄工部として創業。橋や鉄骨などの設計、製作、建設、調査、補修を行うメーカーとして、本州四国連絡橋をはじめとし数多くの大型プロジェクトにかかわってきた。また、クレーンや工作用機械の設計、製作、据え付け、修理、さらにソフトウェアの開発、販売、処理サービスなども行っている。本店は東京、本社は茨城県取手市にあり、北海道から沖縄まで支店・営業所を持つ。1Fには震災直後に50~60人が3交代で入っていた。



全体に失敗が許されない重要な仕事ゆえ、全国から優秀な作業員さんたちが集まり、私たちの仲間となりました(上)。休みの日はゴルフコンペを行い、仲間との親睦を深めました(下)

が上れないため、クレーンを遠隔操作して鉄骨を掛けたり外したりしなければなりません。少しでもミスがあったら、

大事故につながってしまいます。

ですから、作業員さんを選ぶのも大変でした。ほかの現場ならば、作業をしながら学ぶという人も大歓迎なのですが、ここではそうはいきません。絶対に失敗ができない工事でしたから、経験が豊富で技術力が高い職人さんを全国から150人集めたのです。それが最初の苦勞でした。メンバーには、本州四国連絡橋を架けた職人さんもいました。1Fは750tクレーンという大きなクレーンを使用しましたが、本州四国連絡橋ではさらに大きい3500tのクレーンを扱っていました。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください  
URL : <http://1f-all.jp/interview/06/>

## 1Fを守る仲間たち 07

# 未然に事故を防ぐためにも 職場のコミュニケーションは大切

志賀 郁雄さん

東京パワーテクノロジー 株式会社 福島原子力事業所  
工事部 機械設備グループ 主任

本格的な稼働に向け、最後の試験を行っている雑固体廃棄物焼却設備。使用済みの保護衣などを安全に焼却するもので、廃炉作業になくてはならない設備の1つです。他社と協力しながらその作業を先導した、東京パワーテクノロジーの志賀郁雄さんに、震災直後からの1Fでの仕事や工夫点をうかがいました。

—— 雑固体廃棄物焼却設備は、もうすぐ本格稼働ですね。

志賀さん：雑固体廃棄物焼却設備の建設は、いくつかの会社が担当しており、当社では機器や配管の据え付け作業を請け負っています。今回の仕事では、20代後半から50代まで16人がグループを組み、私がリーダーを務めてい

1992年入社。震災前は発電施設のメンテナンスが主な業務で、1Fをはじめとして、各地の発電所の定期点検に携わっていた。1Fの作業が順調に進むことと同時に、福島と千葉に分かれて住んでいる2人の娘さんの幸せを何よりも願っている



ます。2012年に焼却炉建屋の床下への埋設配管工事が始まって以来、ようやく本格的な稼働が目の前に迫ってきました。

—— 仕事上で心がけていることはありますか。

志賀さん：こういう職場では、人のつながりが大切です。私たちの会社は上司と部下も和気あいあいで、たまに言い合いをするときもあれば、大笑いするときもあるといった、家族のような雰囲気です。同時に、情報を共有することは事故を未然に防ぐことにもつながります。当社では、1Fについての新しい情報が届くと、社員全員に必ずメールをまわすように心がけています。

また、現在の仕事のように、他社と共同で作業をする場合、コミュニケーションはとくに重要です。企業が違えば気質や考え方も違ってきます。実際、最初はとまどうこと

もありましたが、きちんと話し合って相手の考えを知ることとで乗り越えることができました。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください  
URL: <http://1f-all.jp/interview/07/>

志賀さんのお勤め先

## 東京パワーテクノロジー 株式会社

緑化管理や尾瀬の環境整備などを行う尾瀬林業株式会社(1951年発足)、発電やエネルギーに関する業務を行う東電工業株式会社(1954年発足)、環境にかかわる施設のメンテナンスなどを行う東電環境エンジニアリング株式会社(1955年発足)の3社を統合して、2013年に発足。発電に関連する設備の工事、運転、メンテナンスを主な業務として、震災後の1Fにおいては原子炉の安定化工事や周辺地域の除染工事も行っている。

## いちえふのいま

# 管理対象区域を3つに分けて安全に作業ができるようにします

作業を安全・効率的に進めること、汚染を広げないことを目的に、3月8日から管理対象区域を3つのゾーンに分けました。ゾーンごとに保護衣・保護服、工具、車などを使い分けています。

一方、中長期ロードマップに記されていた主な目標のうち、1F敷地の境界における線量1mSv/年未満、1号機タービン建屋の循環注水ラインからの切り離しを実施しました。



## 作業環境について

- ゾーンごとに装備を使い分ける  
管理区域を、汚染度によって、レッド・ゾーン、イエロー・ゾーン、グリーン・ゾーンの3つに分け、ゾーンの境界線には装備交換所を設けています。
- 大型休憩所2階にコンビニが開店  
営業時間は6:00～19:00。日曜日はお休み。

## 敷地境界線量(評価値)

最大で約10mSvだった1F敷地の境界における線量は、汚染水の浄化や施設の配置の変更により、1mSv/年未満に減少。

## 1号機について

- タービン建屋の循環注水ラインからの切り離し  
建屋内の水位を下げたことで、3月からは他の建屋からタービン建屋が切り離されました。
- 原子炉建屋カバー内に散水設備を設置  
ガレキを取り除く際にダストが飛び散るのを防ぐため、2月4日から散水装置の設置作業を開始。

## K排水路出口について

1～4号機建屋のまわりの雨水を集めるK排水路について、その出口を港湾内へ付け替える工事が3月末に完了。

👓 コラム

## 1Fの安全統一ルール22カ条 【第1回】

1Fでは、災害の発生防止、安全確保に最善の努力をしています。2011年から12年にかけては災害は減少していましたが、13年、14年には、残念ながら増加に転じました。そこで昨年、過去の災害事例をもとに1F内で守るべき規定として、「1F安全統一ルール22カ条」を作り、運用を始めました。このコーナーでは、今号から2カ条ずつ紹介していきます。

### ●第1条「挨拶の実施」

「おはようございます」「お疲れ様です」「ご安全に」など、挨拶をすることで心地よいコミュニケーションをとりましょう。自分から挨拶をすることが安全確保の第一歩になります。

### ●第2条「指差し呼称の実施」

「○○ヨシ!」など、言葉に出して意識的に確認することは、安全管理の鉄則です。各職場で、効果的な指差し呼称を決めて、実践してください。

次に具体的な指差し呼称例を示しますので、参考にしてください。

- 高所作業：安全帯の使用は良いか？
- 車両運転：前方は良いか？  
後方は良いか？  
左右は良いか？
- 重機作業：立ち入り禁止措置は良いか？
- クレーン作業：アウトリガーの  
振り出しは良いか？
- 火気作業：可燃物の除去、  
養生は良いか？



## 🍵 いこいの時間

### 〈まちがい探し〉

今月はまちがい探しです。福島県の三春滝桜の絵が2つ。とてもよく似た絵ですが、まちがいがいくつか隠れています。みなさん、まちがいが何個あるかわかりになりますか？



### 応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

「Jヴィレッジ受付に設置してある応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。」

**応募箱設置期間 4月11日～4月22日まで**  
(設置時間:9時～17時)

\*応募用紙は応募箱横に設置しています。  
\*当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

### 今号のプレゼント

1F構内の食堂で使えるプリペイドカード1000円分(保証金500円分含む)です。500円分のお食事ができ、チャージ(入金)をすれば引き続きご使用いただくことができます。



## ウェブサイトの紹介

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員みなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えたいという思いで2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、いちえふで働く作業員みなさまを応援していきます。



<http://1f-all.jp/>

月刊いちえふ。  
2016年4月号

【発行日】2016年4月10日  
【発行】  
1 FOR ALL JAPAN 事務局  
(東京電力ホールディングス SC室)  
【お問い合わせメールアドレス】  
info@1f-all.jp